

「脱炭素社会推進普及啓発業務」公募型プロポーザルの質問に対する回答書

No.	資料名	質問内容	回答	回答日
1	募集要項 企画提案書等の提出書類（登記簿謄本）	登記簿謄本は登記情報提供サービスで取得したもので構わないのでしょうか。	「登記情報提供サービス」からWEB取得したのではなく、法務局が発行する登記簿謄本（履歴事項全部証明書）を提出いただきますようお願いいたします。 なお、登記簿謄本（履歴事項全部証明書）は写しでも可です。	5月12日
2	募集要項 企画提案書等の提出書類（事業所の本社及び営業所等の所在地の都道府県税のすべてに未納がない旨の証明書）	徳島県内に支店、営業所等が無い場合、提出する納税証明書は国税のみという解釈で合っていますでしょうか。	ご認識のとおりです。	5月12日
3	募集要項 企画提案書等の提出書類（事業所の本社及び営業所等の所在地の都道府県税のすべてに未納がない旨の証明書）	質問2の解釈が合っている場合、国税の納税証明書を提出すると、直近1期分の未納がない旨の証明書を提出する必要はないという解釈で合っていますでしょうか。	ご認識のとおりです。	5月12日
4	仕様書_業務内容	4(1)県内イベントへのブースの出展等について、徳島県が既に想定しているイベント候補はあるのか。	現時点で県が指定、または想定している特定のイベント候補はありません。仕様書に記載のとおり、出展するイベント及び具体的な実施内容については、受託者よりご提案いただき、県と協議のうえ決定することとしております。	6月1日
5	仕様書_業務内容	4(1)県内イベントへのブースの出展等について、徳島県が主催者として定例開催しているイベントの中で、来場者データを観測しているのであれば、徳島県民の来場者数・来場者割合の多いイベントを教えてください。	本業務において特定の県主催イベントへの出展を必須とはしていないため、県が管轄するイベントの来場者詳細データの提供は差し控させていただきます。 民間イベントも含めて、広く県民に対して「デコ活」の認知度向上やライフスタイルへの行動変容を促すことができる集客力の高いイベントを、受託者において調査・選定のうえご提案ください。 なお、昨年度事業においては、いずれも民間主催イベント「狸まつり」（藍場浜公園）や「森のマルシェ」（あすたむらんど徳島）への出展実績があります。	6月1日

「脱炭素社会推進普及啓発業務」公募型プロポーザルの質問に対する回答書

No.	資料名	質問内容	回答	回答日
6	仕様書_業務内容	4(1)県内イベントへのブースの出展等について、出展対象イベントを検討する場合に考慮すべき時期等はあるのか。	契約締結日から令和9年3月31日までの業務期間内において実施してください。特定の時期の指定はありませんが、事業終盤には成果報告会の開催も控えているため、事業全体のスケジュールを考慮した実施スケジュールをご提案ください。 具体的な日程は、採択後に県と協議のうえ決定します。	6月1日
7	仕様書_業務内容	4(1)県内イベントへのブースの出展等について、昨年度事業における実績、特にブース来訪者数などの定量項目について教えてください。また、その他のKPIや課題、必ず解決しなければならない改善点を教えてください。	昨年度事業では、イベントへの2回以上のブース出展が仕様書に盛り込まれており、実績は次のとおりです。  ①出展イベント：狸まつり（2025年11月1日、2日） ②出展イベント：森のマルシェ in あすたむらんど（2025年12月6日）  ○出展実績 昨年度は2つのイベントに出展し、ブース内アンケートで合計391名（狸まつり：332名、森のマルシェ：59名）から直接回答を得ました。ブースではデコ活関係の啓発パネルを展示するとともに、大人向けに「うちエコ診断」、子ども向けにマイクラフトを用いた「脱炭素未来空間TOKUSHIMA」や「木のおもちゃ体験」等を実施し、幅広い世代への認知を図りました。  ○課題 アンケートの結果、「デコ活という言葉を今回初めて知った」と回答した方が309名（約80%）にのぼり、依然としてデコ活自体の認知度が低いことが浮き彫りとなりました。また、「脱炭素＝がまん」というイメージや、取り組むことによる経済効果が見えにくいという声もあります。 そのため、単にブースを構えるだけでなく、来場者が身近にかつ気軽に実践でき、CO2排出量削減に伴う「家計や時間的なメリット」を実感・評価できるような、分かりやすい啓発内容の構築が求められます。	6月1日
8	仕様書_業務内容	4(2)脱炭素経営伴走支援について、県内中小事業者を2社選定するまでの募集行為についても委託業務に含まれると理解をしているが、徳島県側で対応される募集行為があれば教えてください。メールマガジンの送付など。加えてその送付対象や送付数などについても教えてください。	県では、県ホームページでの周知や、県内市町村への周知協力依頼、徳島環境サステナブルネットワーク会員向けのメールでの案内等、可能な範囲で協力いたしますが、原則として受託者の広報手法を用いて募集を行ってください。  参考：徳島環境サステナブルネットワーク会員 <a href="https://www.pref.tokushima.lg.jp/file/attachment/1003179.pdf#page=4">https://www.pref.tokushima.lg.jp/file/attachment/1003179.pdf#page=4</a>	6月1日

「脱炭素社会推進普及啓発業務」公募型プロポーザルの質問に対する回答書

No.	資料名	質問内容	回答	回答日
9	仕様書_業務内容	4(2)脱炭素経営伴走支援について、選定する県内中小事業者2社の業種等の考慮すべき観点や徳島県の意向はあるのか。	支援対象となる事業者の業種等に関する指定や特段の意向はございませんが、多数の応募があった場合は、県内事業者への脱炭素経営の波及を図るという目的を踏まえ、モデル企業となりうる企業や、業種の偏りがないように選定いただくことが望ましいと考えています。	6月1日
10	仕様書_業務内容	4(2)脱炭素経営伴走支援について、昨年度事業における実績、特に募集時の応募数などの定量項目について教えて頂きたい。また、その他のKPIや課題、必ず解決しなければならない改善点を教えて頂きたい。	脱炭素経営伴走支援について、昨年度は3社募集し、応募数も3社のみでした。また、業種は「製造業」、「教育・学習支援業」、「医療・福祉」でした。 実績として、CO2排出量の算定（見える化）、訪問による省エネ診断、削減目標・ロードマップの設定、社内勉強会の開催等を行いました。  ○課題 昨年度事業における成果報告会のアンケートでは、脱炭素経営の課題として「人材不足」や「資金面のハードル」が挙げられ、経済効果の提示を求める声が多いことが分かりました。 プロポーザルのご提案にあたっては、こうした課題を踏まえた企画提案をお願いいたします。	6月1日
11	仕様書_業務内容	4(2)エの事例紹介資料について、ファイル形式やページサイズ等の指定条件はあるのか。	ファイル形式やページサイズ等の厳密な指定はありません。 本資料は「県ホームページへの掲載」を目的としており、支援対象事業者へのインタビュー記事原稿や関連写真を含めることとしております。そのため、県側でホームページに掲載・加工しやすい形式（例：Word等のテキストデータ及び画像データ（jpeg、pngなど））で提供ください。	6月1日